

○O'REILLY主催のものづくりイベント Make: Tokyo Meeting に所属メンバーが日頃製作している作品を展示発表し来場者などから評価を受けた。

→定期的に個々の成果発表を行い、各自が評価し合うことでより高いクオリティのモノ作りに繋がった
→展示ブースでは他校生徒や他団体と意見交換を行い、次回作品づくりの参考とした。

URL: <http://jp.makezine.com/blog/2009/11/mtm04.html>

別途資料添付

『DorkbotTokyo 2009「ドークボット大東京2009 ザ・コンテスツ」』

○DorkbotTokyo 2009にて手芸デバイスコンテストを企画し、コンテスト内で多くの参加者を集め、またコンテストに参加し会場を賑わせた。

→ドークボット大東京の運営のスタッフとして参加や、コンテストの企画をし多くの人との交流の場を設けた。

URL: <http://dorkbot.org/dorkbottokyo/>

別途資料添付

活動のスケジュール

■ 6月～12月 作品制作・研究

■2009.09.06(日) DorkbotTokyo 2009「ドークボット大東京2009 ザ・コンテスツ」コンテスト企画

■2009.10.22(火) fabo WorkShop vol.1 dj sniff 水田拓郎 [Lecture & Live] 開催

■2009.11.10(火) fabo WorkShop vol.2 Dirty Electronics John Rechards [WORKSHOP] 開催 東京工芸大学

1 ■2009.11.22(日)-23(月) Make: Tokyo Meeting 04 東京工業大学 大岡山キャンパス 展示として参加

■2009.12.10(木) fabo WorkShop vol.3 ArduinoWorkShop @工芸大学 fabo[WorkShop]

活動により得られた成果

全体を通して多くの人と関わり合う事で多くの知識を共有できた事と、ワークショップを通して知識レベルのスタート位置の違う人通しが共にもの作りをする事で、応用から制作を始める逆のステップでの勉強の方法を知り、スピード感のある制作環境を体験する事ができた。

外部講師を呼び、工学部芸術学部と分け隔てなく参加してもらい、さらに外部参加者を集める事が出来たため多くのつながりを作る事が出来、学生間の制作などの交友範囲の拡大に貢献した。

また所属している学生が fabo の研究成果を元に制作した作品が O'REILLY 主催 Make:TokyoMeeting04 のフライヤーに掲載された事と O'REILLY 出版の make:と言う雑誌に学生作品が掲載され、また SENSE2009 という野外イベントのアート展示の一部 (<http://www.sense2009.com/art.html>) として出展するなどの成果があった。

※別紙にて添付資料を添付いたしました。

今後の活動予定

未定